

《企業紹介》

個人の住宅取得支援を目的に政府によって1989年に設立されたホーチミン市住宅開発銀行が同社の起源である。ベトナムの中産階級に強固な営業基盤を構築してきたことを強みとしている。2011年に外資系の消費者金融会社を買収、2015年には日本のクレディセゾンに消費者金融子会社への資本参加を仰ぎ、その消費者金融子会社（HD セゾンファイナンス）はベトナムの消費者金融業界において、規模の面でも、サービス品質やメニューにおいても高い評価を獲得している。以上のような経緯から、同社は中低所得者向けの自動車、自動二輪車、耐久消費財の購入支援融資で高いシェアを有している。

《2026年4—6月期業績》

2026年4—6月期の営業収入（以下、収入は全て費用を差し引いた純額）は前年同期比9.4%増の12.7兆VND（ベトナムドン）だった。貸出債権残高は同29.3%増の649.8兆VNDに増加したが、預貸利ザヤの悪化が進んでいるため、金利収入は同0.7%減の9.7兆VNDに減少した。預金残高が同40.8%増の674.0兆VNDとなったのに対し、金融費用は同70.3%増の13.9兆VNDとなったことから、預金金利の引き上げが進んでいることが窺える。このように資金調達コストが大きく上昇したが、競争激化等によって資金調達コストの上昇を貸出金利に十分に反映できない状況が続いたため、預貸利ザヤが一段と悪化した。その結果、貸出債権残高の大幅な増加に関わらず、金利収入が減少している。一方、採算改善努力の継続によって手数料等収入は同12.9%増の1.5兆VND、その他収入は持分法投資利益の大幅な増加によって同204.0%増の1.4兆VNDとなり、全体の営業収入を押し上げた。

営業費用は同10.2%増の3.0兆VNDと営業収入の伸びとほぼ同水準の増加だったが、貸倒関連費用が同38.0%減の2.5兆VNDへ大きく減少したことから、税前利益は同50.5%増の7.0兆VNDとなっている。純利益は同58.1%増の5.5兆VNDとなった。なお、貸出債権残高の増加と貸倒関連費用の大幅な減少により貸倒比率は同1.7%ポイント低下の1.6%となっており、貸出債権の健全性は改善傾向を維持しているといえるだろう。

図表1 四半期業績の推移（単位 十億VND）

	2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期		2026年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	11,635.9	40.3	9,516.5	11.8	12,330.3	30.5	9,952.8	13.4	12,731.3	9.4
（うち金利収入）	9,819.2	27.2	7,763.3	-0.1	9,755.6	18.9	8,483.0	14.5	9,752.8	-0.7
（うち手数料等収入）	1,331.6	492.9	1,187.2	188.1	874.4	17.3	847.1	15.5	1,503.3	12.9
（その他収入）	485.2	39.2	566.0	72.9	1,700.3	240.1	622.8	-1.6	1,475.1	204.0
営業費用	2,782.0	-8.2	2,488.0	-15.7	3,819.9	7.9	2,587.0	2.5	3,067.1	10.2
貸倒関連費用	4,141.1	267.7	2,294.0	109.8	1,991.1	8.7	1,258.5	-5.0	2,569.5	-38.0
税前利益	4,712.8	13.9	4,734.5	5.4	6,519.3	60.0	6,107.3	14.0	7,094.7	50.5
純利益	3,514.9	12.8	3,646.6	6.5	5,107.2	64.0	4,766.6	12.6	5,558.7	58.1
貸出債権残高	502,452.0	31.7	482,446.8	22.5	539,071.3	23.2	593,332.8	34.7	649,803.2	29.3
貸倒比率(年換算、%)	3.3	2.1	1.9	0.8	1.5	-0.2	0.8	-0.4	1.6	-1.7

注 収入は全て対応費用を差し引いた純額 注2 貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4(年換算)で計算(%)

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20260813

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

HDバンク(HDB)



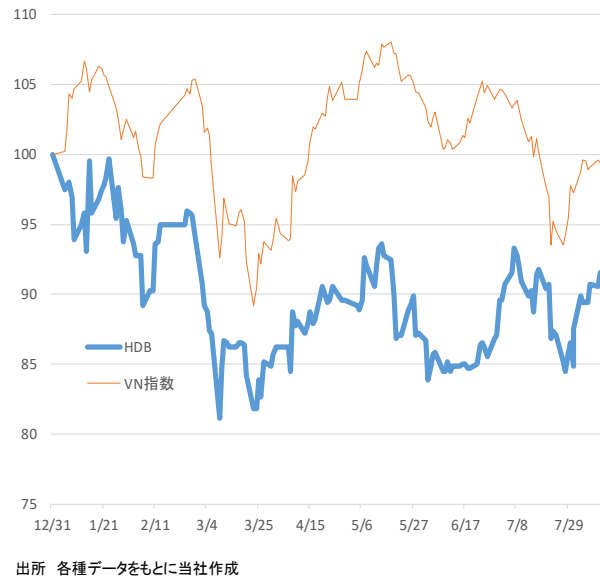
《株価の動向》

同社の株価と VN 指数を、2025 年末終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価パフォーマンスは 2026 年の年初から一貫して VN 指数をアンダーパフォームしている。2025 年末に対する 8 月 12 日終値時点の変動率は VN 指数の 1% 下落に対して同社は 8% の下落となっている。なお、8 月 12 日終値 25,200VND ベースの時価総額は 136.1 兆 VND であり、この水準は 2025 年 12 月期実績の純利益 16.5 兆 VND に対して 7.6 倍となっている。

同社は 2026 年 12 月期の税前利益について、前期比 41% 増の 30.1 兆 VND を計画している。2026 年 1—6 月累計の税前利益実績で計算される進捗率は 44% にとどまっていることから、資金調達コストの上昇は計画を上回っている可能性がある。

ベトナム中央銀行は、6 月以降、民間銀行の貸出余力をサポートするための施策を打ち出しているため、7—9 月期以降には調達コスト上昇の緩和が期待できる。しかし、その一方で預金の獲得競争が激化しており、政策効果の発現には不透明感が残っている。同社は個人向け融資に強みを持っているが、この分野へ参入する銀行も増え、競争状況は厳しくなっていることから、貸出金利の引き上げが十分に進まないリスクもある。預貸利ザヤの改善と貸出債権残高の拡大が両輪となって業績拡大を牽引するという状況が実現するにはもう少しばかり時間がかかる可能性がある点には注意が必要だろう。

図表2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260813

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。